

## 海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2015年第2四半期（4月～6月）分）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

#### (1) 一般犯罪

犯罪に関する統計は公表されていないものの、治安当局関係者の話によれば、最近窃盗犯罪が減少傾向にある他は、犯罪発生数は例年同時期と横ばいである模様。

ドバイ警察は、過去5年間の重要犯罪検挙率が97.9%であること及び本年上半期の自動車窃盗の発生が前年同時期と比して80%減少したことを公表（8月11日報道）。

ドバイ政庁は、今後建設される商業用建物及び現在建設中の商業用建物に対し、監視カメラシステムの設置を義務付けた（5月13日報道）他、ドバイのタクシーに監視カメラを設置することが検討されており、引き続きドバイ首長国内の監視カメラ設置強化の動きが見られる。

#### (2) テロ

特記事項なし。

#### (3) デモ・騒擾等

4月11日夕方、ラアス・ル・ハイマ首長国ハリーフア・ビン・ザイド・シティで建設中の建物内で、労働者による抗議暴動が発生。約50人の労働者が、同僚の建設作業中の転落死を安全措置の欠落と抗議し、建設中の建物や車両17台、発電機、燃料タンクに放火した。死傷者はなし。

#### (4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

#### (5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

### 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例（犯人は全て検挙）

#### (1) 殺人

##### ○ ドバイ首長国（4月3日発生）

マアイスナ地区（ドバイ空港の東）で、アジア国籍の女が知人のアジア国籍の男性のアパートメントにおいて、貴金属や電気製品を強奪した上、放火して同男性を殺害した。

##### ○ ドバイ首長国（4月9日発生）

ジュベル・アリ地区の労働者宿舎内で、インド人の男4人が飲酒して口論の末、同僚の男をナイフで刺殺した。

##### ○ シャルジャ首長国（5月9日発生）

インダストリアル地区で、パキスタン人の男が知人と口論の末、同人を刺殺した。

##### ○ シャルジャ首長国（5月11日発生）

アル・ムサラ地区で、アジア人グループ間の金銭トラブルを巡って刃物や鉄棒等を用いた集団格闘があり、1人が死亡した。

##### ○ ドバイ首長国（5月13日報道）

ホル・アル・アンズ地区（ドバイ空港の西）で飲酒していた2つのパキスタン人グループの間で喧嘩となり、1人が割った瓶を武器にして1人を殺害した。

##### ○ ドバイ首長国（6月4日発生）

ナイフ地区でアルジェリア人の男が、銀行から現金125万ディルハムを引き降ろした中国人の後を付け歩いてビルのエレベータ内で同人を刺殺し、現金在中のバッグを奪って逃走。同男は空港にて出国しようとしたところ、警察等の手配により逮捕された。

(2) 強姦

○ ドバイ首長国 (6月5日発生)

パキスタン人の男2人が、就職広告に応募した短期滞在中のフィリピン人女性を就職面接に行くと騙して待ち合わせて車に乗せ、郊外に連れ出して強姦した。

(3) その他

○ シャルジャ首長国 (4月29日発生)

薬物中毒気味の男(国籍不明)が、カラエン地区の自宅で同人の妻及び義姉と口論の末、両人を刀で切りつけ重傷を負わせた。

○ ドバイ首長国 (6月17日報道)

ジュメイラ地区で、パキスタン人の男が通行中の東欧人の男性をナイフで切傷。両者に面識はなく動機等は明らかにされていない。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。